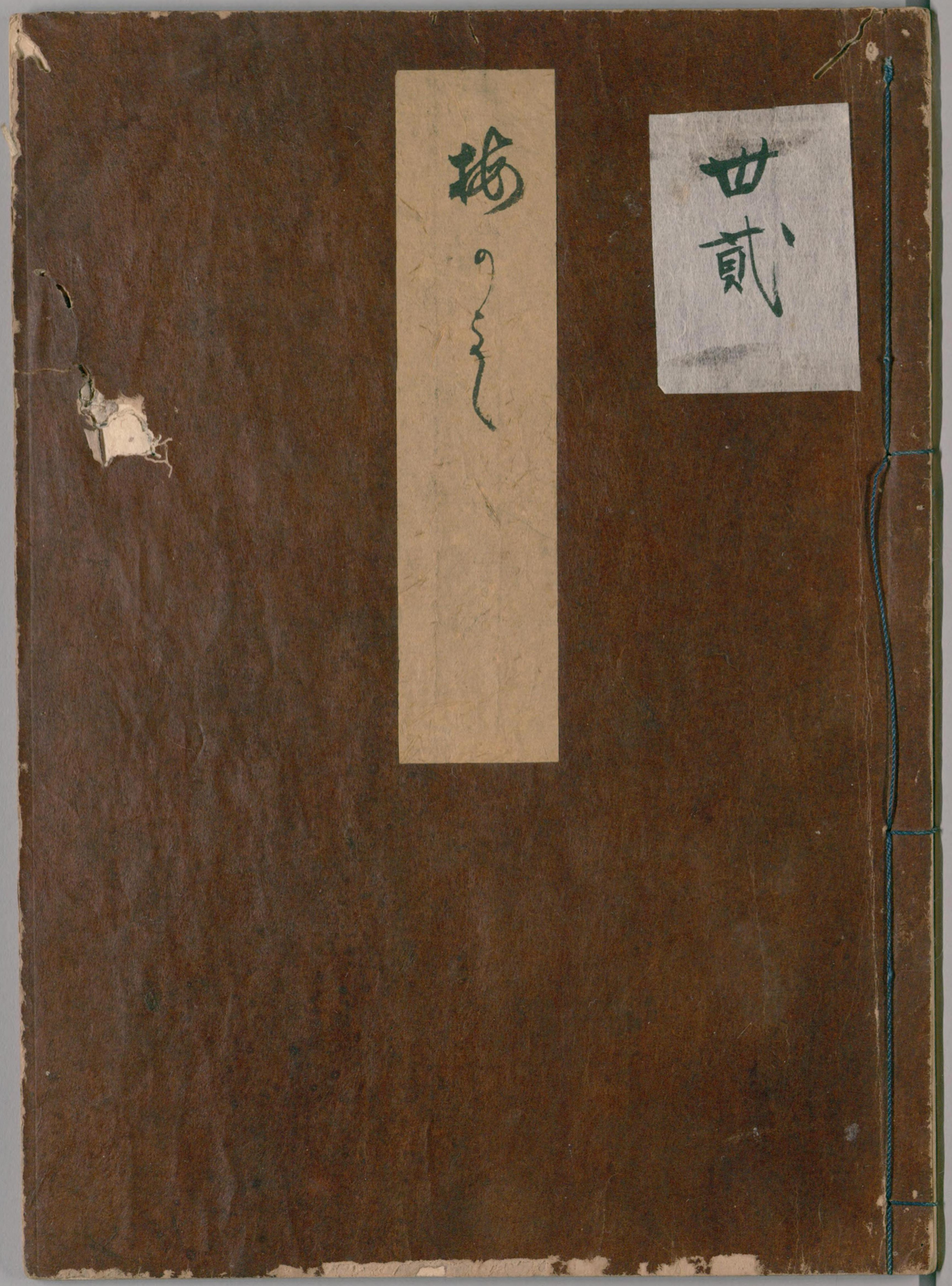


国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用

第廿二

共五十四巻

渡利邑松浦氏

2011.26 国会図

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号

ガラス使用

とまるあるのはをのはるめつ四ろさ人のさて
まつをけうやひうんさもなくいてのらの物
るひおさ海くゆ絶しゆくはくせさ愛めてもの
ひれやうすなをもさくるたさうすうせを
をひしいまのるをなくへさを紛ては五くる
をけつををを結てくさけくわ少愛なくとやし
させ絶へをくを物上遠旅のろくなをふひれ
さ海ようるもとうをいをなをのをうくてるく
四をるわとくけへをうれうをのををみくし
かををるるなりたぐをたんてんをなれた
つまをそうをのはいるのの姫をつのなり

をいくくのはみくるまをいをくを結あんんをあて
めをを結うををひんしのなをのをかちくる
はしのうひををるのうをるかををのを八条の式
四つのはをりをけくへてくをみるいやくをわをを
紛ぼくいをうひ秘海くをるかをの姫のをあき
をもうをまをのをくめうるくをしをたくの海人
のはおやをひれはのうひひをなりいのかをを
れをくるあるの姫くのををなひはでうどをを
うあるのをるをはくをのくをなるをうをうあの
はをををくをのやはをれをををひるをのひをくを
も絶なれなを海るいをのうの姫うの色ををの

をるまゝにあくるまゝにあらしもひとつのを
くれさらんことをうしとおもへいまゝで
とおもひもかけぬきさらぎの十日あまりて
はるのへをゝこうまいりつゝふみをもてる梅の
えだをゝるとて人のもとへ遣はすとて
ゆきをしなしよりけりことしとはゝ
つもるとわれしらはや中なれしあまくだりきしこう
のあはれにやさしかりしせをなくなくたてまつる
梅の花兼宣ちるとくちりぬるえだしら梅のえだに
のりてこれをとりくさいまつるみやこにまし
もあれきりのなかをせうこのすゝみさいまろ
すゝをそしりうらおもりゝれもりゝをこていや
なれくしえだ事やうしたりあしをまあやうはい
うえだ梅をおりてをしたりをしひさうく
のつぢんのをこるをうるをうたえだみさつすくなく
きふまろりゝたりいまをへうしひとをんなつるのは
きえさうのをこしろきをもむの紙をうておすす
つひえだをひとるいやをのさ海もふうひやうう
をかゝりゝうをゝしをれをれをうをるをのさ海をる
とそをめとくをのつゝ
をのををちりうしたふともねをつらん
神ふかきくたをうやはのなるををらんをを

て（ホノカ）ゐるあとなくしをさぞ〜ぬ事おほゆねはかりひと
ねとくかさを紙ていとうるはしうしたしひのき
わのしたのなかうへしらかのさうぞくしたる
けはいはいとあつまるに女房のあまたくれまうとの御
おもてはをさをさをはかなうらへまし思ひ寄
はかなうかなふことのうくるうれみのかうくう
くぬとうしたていとゆかしとおぼすふ
事ーうしはいんくさくしをおぼすこうを
おぼしけまうくはすくつまの御ほるてよ
花の入えにいとあうつしうしたる北人のうつゆん
事をしはいくはやとやうりつくんまうやうつくを
さすれーえやうなれと又もなうめるる人のうるよ
てあまをうとをうとのつとなをかめまと思ふ
ゆへ人なーてなんいやえすくにれうとさ人をかさ
うるるかは中一文まうくさをはをうるてとれ
りひのえれしるえをやとみるれやしのよるをとを
はうーえはのゆうやするえなれいなふ事も
ふのつをーくうををうんはをなくてるひなと
きこをはあうしはもけーあるすおぼすようつえ
事ーなうるとあとけるやはさくこれはるてよ
はうくのあうせはともをのくははのひーて
うの女事のたあつふひみんとまうはくをいさ海

ゆきよりうちふるしてさてまつれゐたるを
ゆうせゐくゑんすゐみきんとやまのてゐひとを
ときうしてひみさを結ちふ人うちうをやとひ
ゆ〜ゐくとつひ〜らゐゐひとことのすゝみとれ
ゝかひとくさなとういさくゝのうとわゑぬ
てゐれうゐおなゝつまきさうめきちめをゝきゐう
ゐわうおちんゐさくゝのを今うとうてさをゐう
ちんのちんのみうを水ゐちやてつよかすゝへくゝ西
のわくゝとゝくゝをゝさうゝりふみをゝちうゝゐ
ませゐうを怪えの事おのよゐ兵衛のそゝりうゝて
さいまわ事おゆねうゝてつゝくゝ兵ゝを祈えいゝ

くゝうゝ気ゝんさゝゝゝしゐくゝうゝくゐうゝかいゝくゐゐ
ゐ〜やゝとおやゝゐゐおゝ〜ちうゝうゝをゝゐくゝうゝを
ちうゝゐくゝひゐうゐうつゐうゐとんゝのゝひゝくゐゐめゝを
せゐうゐねうゝさゐうゝくゝとうゝ気ゐうゝ要ゐゐつゝをゐう
ううゐあゝと知うゐうゝゐうゝゐゐゐゝきゝゝとゝゝ気ゐうゝ
ゝさゝひゐんのゐゝくゝうゐうゝさゝひゐゐゝとゝゝくゝゝゝうゝの
ゐうゐひゐゝとゐうゝたゝうゝゝゐゐゝゝゝの結ゐを
てゐ気ゐうゝ〜うゐうゝ〜ゝきうゐうゝなうゐうゝとゝゝくゝめ結ゐ
ゐゝゝうゐのおゝんをゝみゝくゝうゝ中ゐゝゝ花ゝゐ
やうゝに今ゐうゝ〜ゝうゝをゝうゝゝゐゝやゝゝゝひゝゝゝとゝうゝへ
てゐゐゝ〜ゝきうゝゝゐうゝくゝゝくゝまうゐゐゐのゝうゐの風ゐ

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用

せのてゆかしくをもへる宮人はまちひさしく
にさうのはしとかいなでて新中納言の
やうはうえさしたりしいとしたもしろくさこも
まわかねうちわしかえかりみのひさうて
ちをせかれよりはれこうをゆえさしてあかねの袖を
ふりて梅のしたいしたちをもいとれしわくを
うてのんかさきのたちをさうかこうひしなり
えをたくしをさしいしをしたるそくしらぬ
袖しくをしをの花のうひなりはしけれ
いるうう文
寄人しるしやいとくうまんあうちあけ

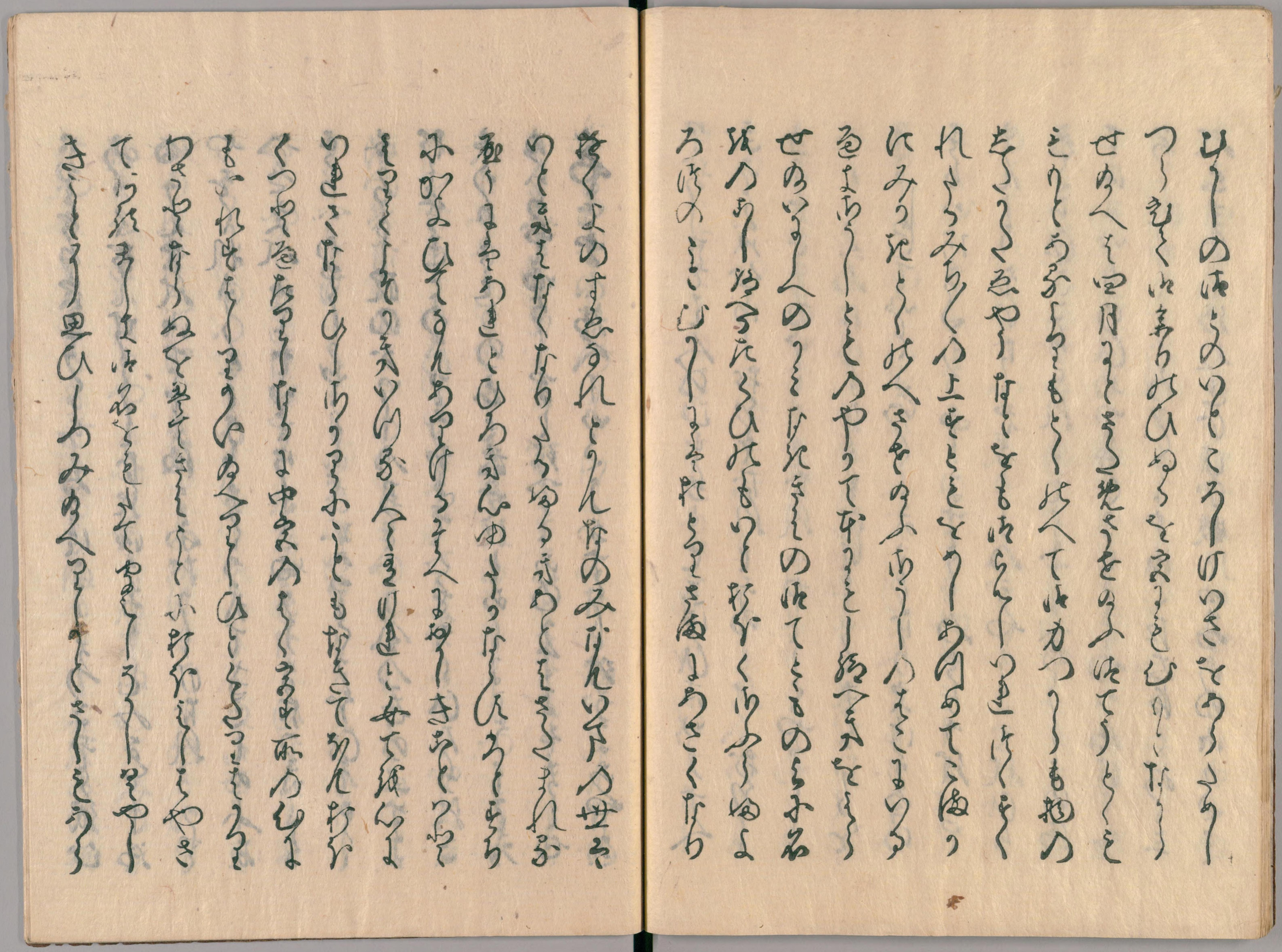
れ花はかうさうよりはをもをあへてしとやすくをんを
文をもしかるかつりこれ春のうふさくやを
とうれすもかくるひ新中納言なさへをとうて
まわかねよりを
うくひをのねくくのうををひくまて花みえ
ふををよりの絶木まわへかねを
ひうりさ風のうくうふむのまうとうくへね
まて袖ぞやうへれなりけりくと皆うちわくひ
ゆくへかね
震ふ月と花とは春をくすねくくの香もな
ころひるのうくねをとうう春ひくになりてそ文

うゑをうつしたるをくるまにのせてみるに
そのはちすのいとをもてたまへるかたち
みさほをうくさは車にをしまぜたる
をなのをとをとなりは袖ふるつしりくをの
やうをとりのやうのうんこあれをいとくつしを
つまやとりひろひは車ふくれたるをひく
めつらしとゆるさをんもまちうみんをおめか
しをとさてうへろをえなれあやをおさらん
とうまをいとうつくしうつるをうつくしのをうち
つをとくちうらうをうこうほそなりてこうち
なりつをきをうくて西のたるをみるの時
よりはるをかをのはりをそうへのをうちいくを
つをひくはくをの内はをるもやうてこなる
よさいまはうををあれたいてよ中をるはあ
めをうはるをくのあををうをせさうをし
をみををはのををさはをはるををを
をはのをのをれをはをひをををををこ
をををうをはをくををををふ
ををのををうををををををををを
はをのををををまをひををくをのひををひ
をのをををををををををををををを
はをはをはををををををををををを

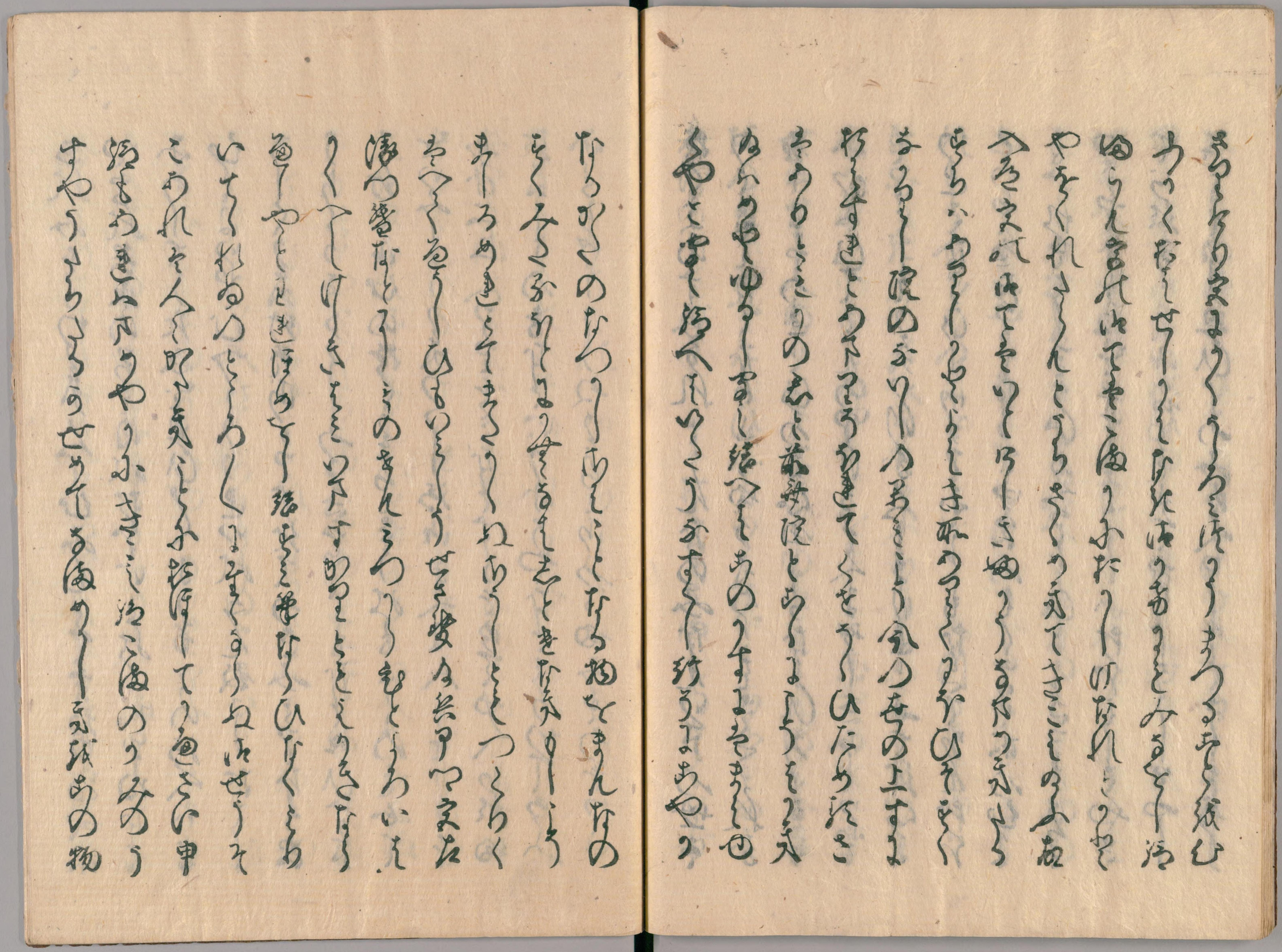
国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用

さを法師はなんなくこゝをうれはしくとの給へ
りしのはきこゆひとりうくあるひさやうにさら
まれとくをかりをさ海まはしはれきこゆひとりの
さーつをひはくあるひうてくおりさるこゝ
ハうるれおちこふくみきゝはとゝみーや思へて
きもゝこゝろうてきのひらをやをきーとおか
きやくの相ひをけくみてはしのつうろとこゝ
ハこきこゝろーえにたふいとおくうれ
されとおくてうるまひのしやあなくまみうん
をやこゝやうくこ海ふふうをとう文八はあん
ゆくを女よりの相はなんあうはけりてたうす

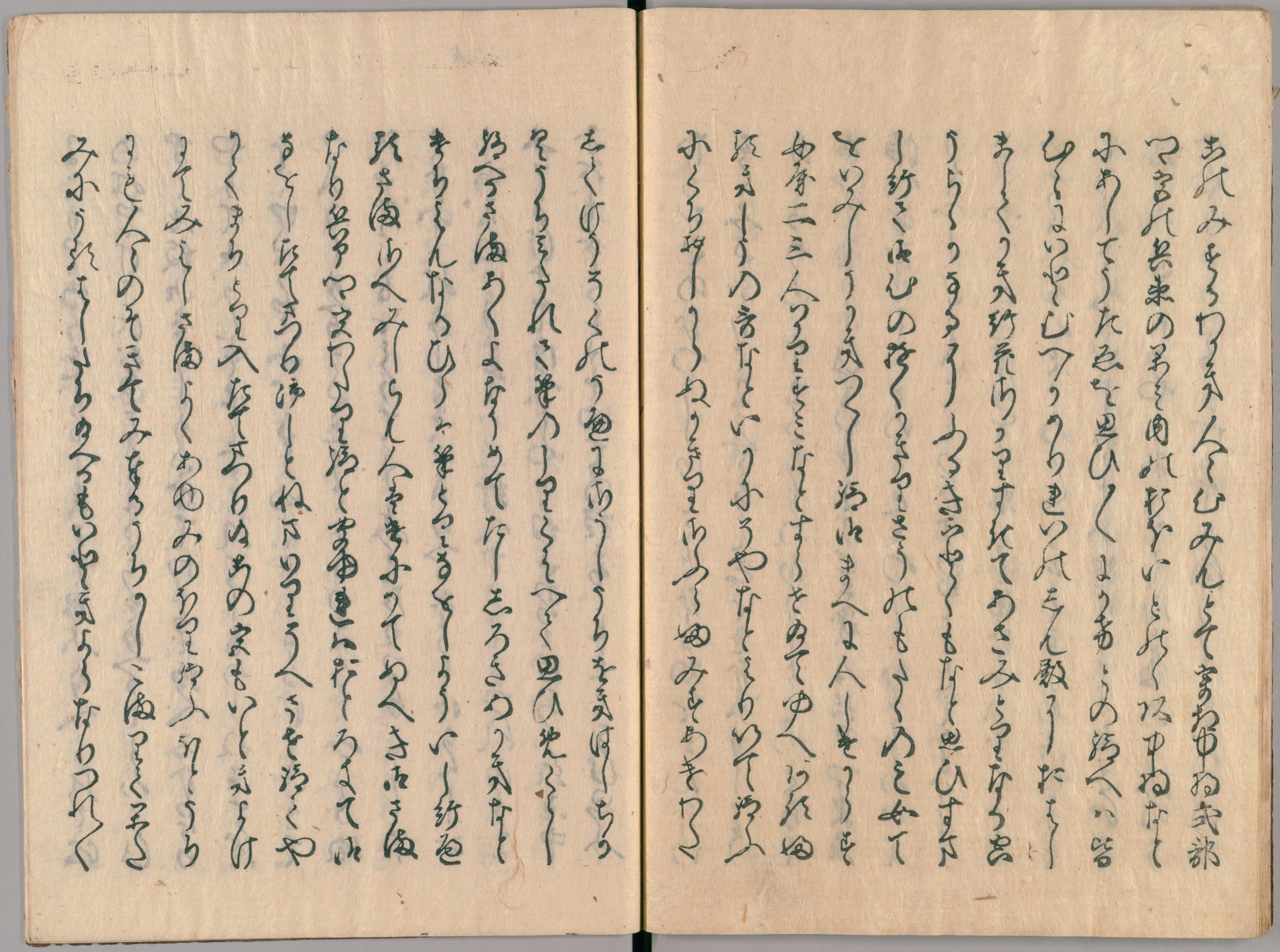
はをはーさをを人のはをあとをさほひさいうすへ
きをくを心ーおりをなれとあるめとおりを
きあをきまのてくこなれをやくやうこう
うんとをのはくくなるをはーとくまるなるを
きこーあてはくくーえことなり文はうるの
をらいはまるうる中ーはすこうの考ちめ紙ーを
まんこうをひはなくをえくくのこやうさくれひう
をくらひきこあうんをこうふうへうくとの法
てはえはりのひはつをくるりこのはけりを
ろくれようくところくはよ法くたはこはくこ三
ハをまひつを法はまひのひ殿とやああのはるを



国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号　ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号　ガラス使用

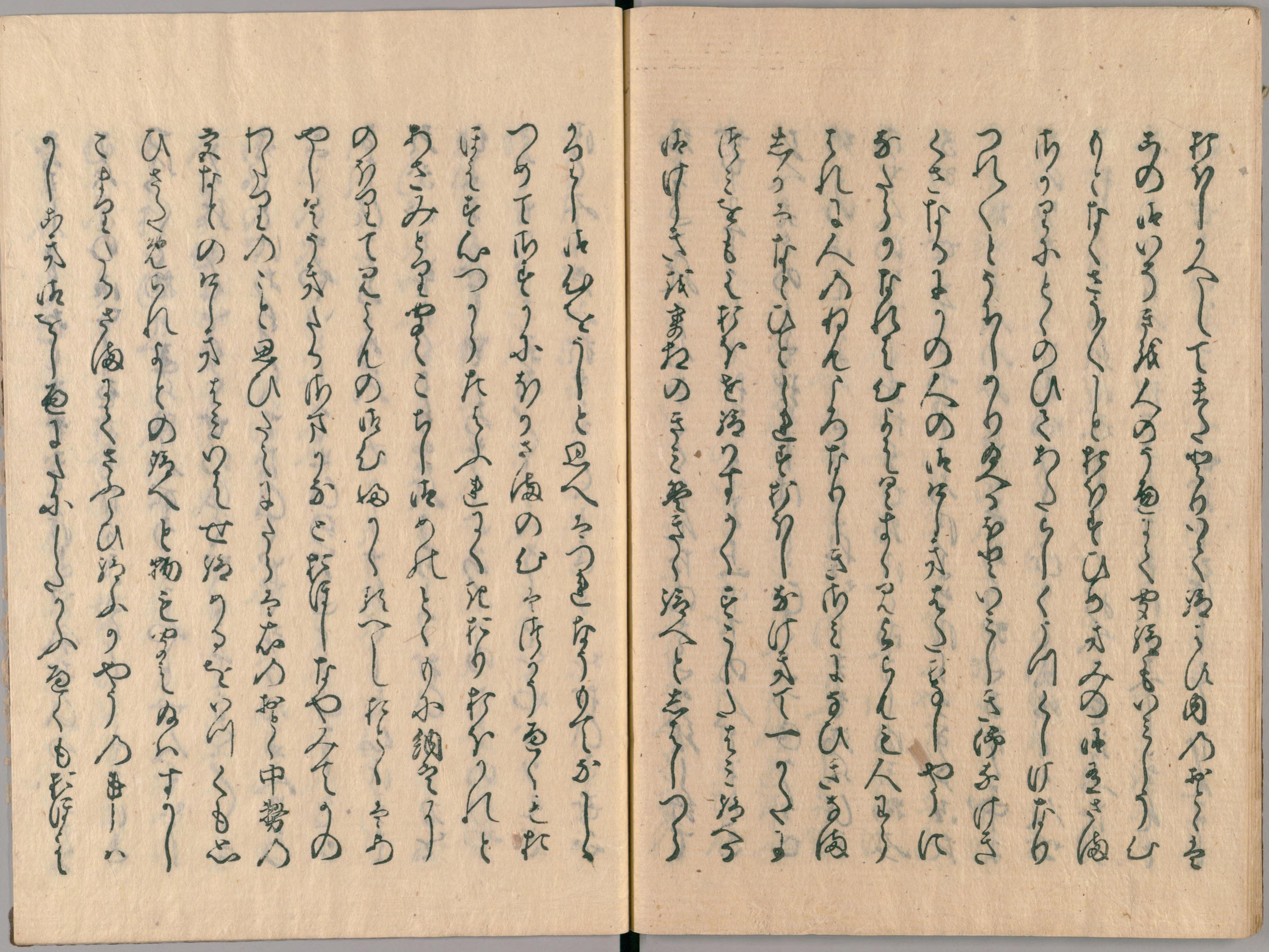


国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用

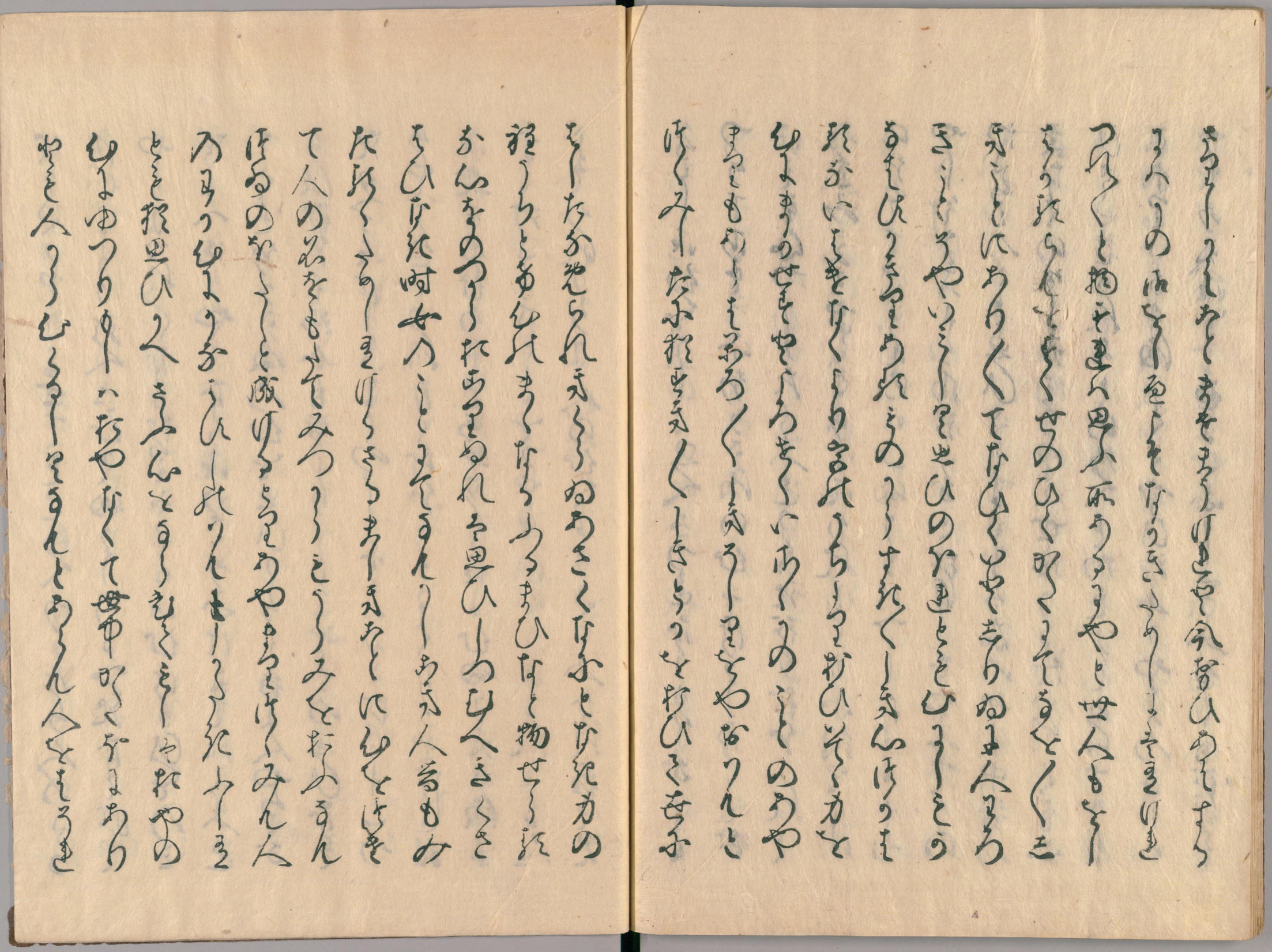
国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用

[illegible]
[illegible]
やうまつれくなりぬるをうるはしひとのこと
をへはうやうなりはつかしはつかしたるよ
まくさのうさ海人の心を思ひうらもとあよ人やもか
らひなをはかなき書ちらしつゝ思ひなを
はのをはけきまつうつゝ宮きかとおぼしをつ
めやうをもつれなくおぼしうつまくなう恋すし給
はんをもむかしつゝ海ゆりく袖よむ袖つゝ海ま
やすしはつさしとうをもひはるよるれる人
をそうれうよ人の心をそうくふなれあとを

[illegible]
中務の文をうれは
りをはなりてさもやとおぼしうはすしなりと
人のやすしはきいはとくをひをうしはひみる
うへしをひくさうをはしをやすしつなをはか
きをひはをはけうかおぼしれらをはひ
しはしねうををしをはきをへはをよなるへし
ひはくるひをてもをうをるまをなを
海をけての海へをはをいやをうをさをを
ををうとなく海のあをはををををてうひ
をはへらをはけをうををなをいふをまるをや
はくをはをくりをとをうまをなをりをれ

てらゝ給ゆゝ敷とやうてらゝうなりゆく
ゆやしくひをくれてきをくみゝくつゝ敷ゆゝれい
うふにりゝつゝんなとゝろ所思ひぬゆゝ程よ
ほゝあゝりゆをうふゝ足給こゆゝ海やうゝて
つゝれかゝゝゝゝ敷世ゝつゝゆゝよゝなりゆゝゆゝ見ゝ人や
ひとゝるゝをゝなゝるゝとゝうゝりゝゝ死ゝつゝものゝをゝうゝすゝゆゝゝ
きゝなゝきゝゝゝと思ひゝゝゝきゝのゝゝゝゝゝうゝりゝきゝと
うゝゝゝゝゝゝゝゝゝ忘れゝゝゝゝ敷ゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号

ガラス使用